

様式集

目 次

3-1	被害の報告様式.....	1
3-2	避難者カード.....	6
3-3	災害清掃事業報告調書.....	7
3-4	標 章.....	8
3-5	緊急通行車両確認証明書.....	9
3-6	災害救助様式.....	10
4-1	被災建築物応急危険度判定ステッカー.....	19
6-1	り災証明申請書.....	23
6-2	り災証明書.....	24
6-3	り災者台帳.....	25

3-1 被害の報告様式

本編関連箇所	P3-23、P4-26、P5-31
参考資料	消防庁、兵庫県資料

1 消防庁報告様式

第4号様式（その1）

〔災害概況即報〕

消防庁受信者氏名 _____

報告日時	年 月 日 時 分
都道府県	
市町村名 (消防本部名)	
報告者名	

災害名 _____ (第 _____ 報)

災害の概況	発生場所											発生日時	年 月 日 時 分			
被害の状況	人的被害	死者		人	重傷	人	住家被害	全壊		棟	床上浸水		棟			
		うち 災害関連死者		人				半壊		棟	床下浸水		棟			
		負傷者		人	軽傷			人	一部損傷		棟	未分類		棟		
	119番通報の件数															
応急対策の状況	災害対策本部等の設置状況		(都道府県)					(市町村)								
	消防機関等の活動状況		(地元消防本部、消防団、消防防災ヘリコプター、消防組織法第39条に基づく応援消防本部等について、その出動規模、活動状況等をわかる範囲で記入すること。)													
	自衛隊派遣要請の状況															
	その他都道府県又は市町村が講じた応急対策															

(注) 第1報については、迅速性を再優勢とし可能な限り早く（原則として、覚知後30分以内）、分かる範囲で記載して報告すること。（確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨（「未確認」等）を記入して報告すれば足りること。）

(注) 住家被害のうち、その程度が未確定のものについては、「未分類」の欄に計上すること。

2 兵庫県報告様式

フェニックス防災システム報告様式

被害把握状況	ほぼ判明	把握中 (調査済エリア割合)					
人的被害	死者	人					
	行方不明者	人					
	重傷者(全体)	人	重傷者(鉄道)	人	重傷者(道路)	人	
	軽傷者(全体)	人	軽傷者(鉄道)	人			
住家被害	全壊	棟	世帯		人		
	半壊	棟	世帯		人		
	一部損壊	棟	世帯		人		
	床上浸水	棟	世帯		人		
	床下浸水	棟	世帯		人		
火災発生	建物	件					
	危険物	件					
	車両	件					
	その他	件					
焼損程度	全焼	棟	世帯		人		
	半焼	棟	世帯		人		
	その他	棟	世帯		人		
非住家被害	公共建物(全半壊)	棟					
	その他(全半壊)	棟					
避難	自主避難(実数)	世帯		人			
	避難区分	避難準備(対象数)	世帯		人		
		避難勧告(対象数)	世帯		人		
		避難指示(対象数)	世帯		人		
	避難所開設数	箇所		ピーク時	箇所		
	現在の避難者数(実数)	世帯	人	ピーク時	世帯	人	

その他被害	田(流出・埋没)	ha	田(冠水)	ha		
	畑(流出・埋没)	ha	畑(冠水)	ha		
	文教施設	箇所	病院	箇所	道路	箇所
	橋りょう	箇所	河川	箇所	港湾	箇所
	砂防	箇所	清掃施設	箇所	崖くずれ	箇所
	鉄道不通	箇所	被害船舶	隻	水道	戸
	電話	回線	電気	戸	ガス	戸
	ブロック塀等	箇所				
り災世帯・り災者	世帯(全半壊・床上浸水)	世帯	人(全半壊・床上浸水)	人		
消防職団員 出動状況	消防職員(出動延人数)	人	消防団員(出動延人数)	人		
被害金額	公立文教施設	千円	農林水産業施設	千円	公共土木施設	千円
	その他の公共施設	千円	その他[農業被害]	千円	その他[林業被害]	千円
	その他[畜産被害]	千円	その他[水産被害]	千円	その他[商工被害]	千円
	その他[その他]	千円				
	被害総額	千円				

(参考) 庁内様式

										通番号	—	
災害関係情報連絡受付処理記録簿												
発信者	件名							受信者	受付時刻	:		
	氏名		場所				氏名					
	住所								連絡先 (氏名)			
	電話								連絡時間	:		
内容												
処理の状況								実施者	氏名			
									対応時刻	:		
									終了時刻	:		
									備考			
確認	受付所管				実施所管				危機管理担当			危機管理監
	係	係長	課長	部長	係	係長	課長	部長	係	係長	課長	

3-2 避難者カード

本編関連箇所	P3-76、P4-78
参考資料	赤穂市避難所運営マニュアル

避難者カード

避難所名

担当職員

No.

①	世帯代表者名		入所年月日						
②	避難の状況	避難所・屋外テント・車中・在宅・帰宅困難者・その他							
③	住所								
④	電話番号								
⑤	家族	氏名	性別	年齢	安否 確認	※③ 国籍	自宅の 種類	持家・集合住宅 賃貸アパート 施設入所 () その他 ()	
		世帯代表者	男 女						
			男 女				家屋の 状況	居住の可否 (可・不可)	
			男 女					全壊・半壊・一部損 壊・床上浸水・床下 浸水・断水・停電・ ガス停止	
			男 女				車	車種： ナンバー：	
			男 女				ペット	有 (種類：) 無	
		特記事項 (アレルギー、持病、通院、悩みなど)							
⑥	他機関からの問い合わせに対する公表の可否	可 ・ 不可							
⑦	退去年月日								
	転出先	住所〒 電話番号							

注 1 家族ごとに1枚の避難者カードを配布し、記入を求めること。

3-3 災害清掃事業報告調書

本編関連箇所	P3-111、P4-113
参考資料	災害清掃事業報告調書作成要領

■ 調書(1) 全般的な被害状況

市名	人的被害			住家の被害					備考
	死者	行方不明	負傷者	全壊 (全焼)	流失	半壊 (半焼)	床上浸水 (一部損壊)	床下浸水 (部分焼)	

■ 調書(2) 下水道終末処理施設、清掃施設等被災状況

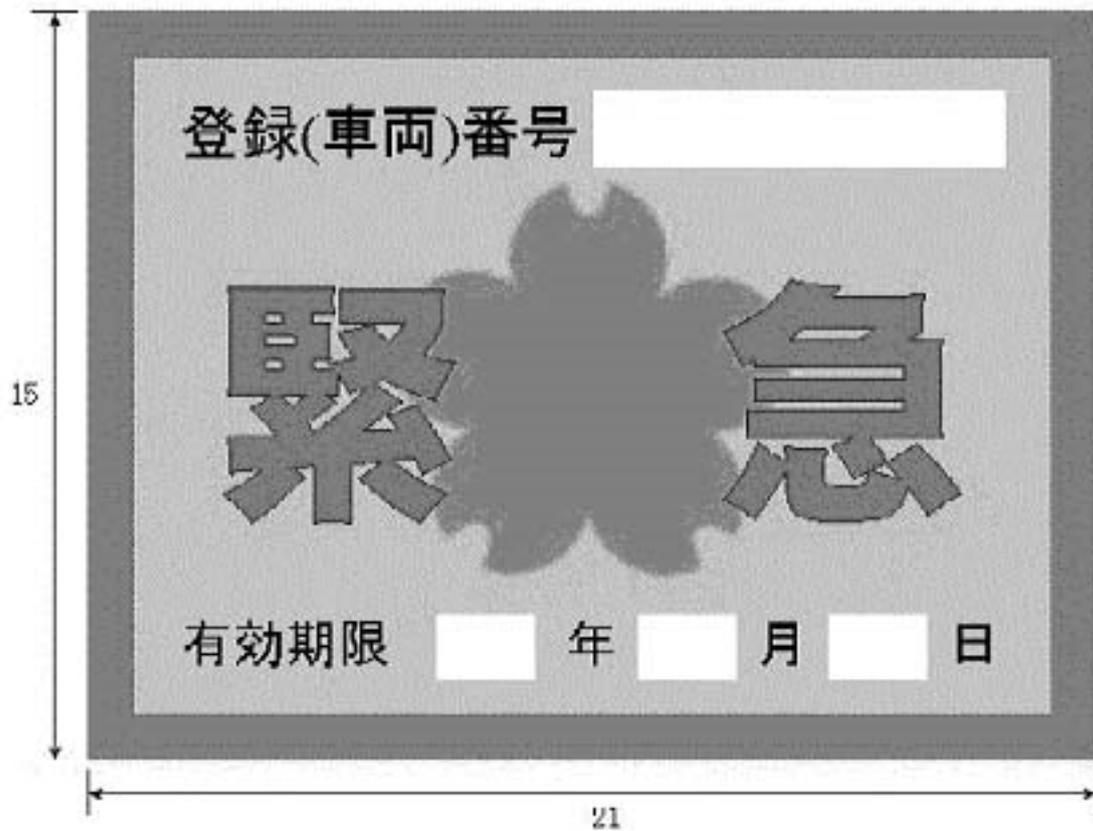
市名	施設名	被害の種類	復旧に要する経費	備考
				内訳別紙のとおり

- (注) 1 対象となる施設は、下水終末処理場、し尿浄化槽、高速堆肥化処理施設、ごみ焼却場、し尿貯溜槽、公衆便所、火葬場、その他の清掃処理施設とする。
- 2 被害の種類欄は、地震、水害、土砂崩壊等の別を記載すること。
- 3 1施設の被害額が20万円に満たないものについては除くこと。

3-4 標 章

本編関連箇所	P3-115、P4-117、P5-72
参 考 資 料	緊急通行車両等の事前届出・確認手続等要領の制定について（通達）

標 章



- 備考 1 色彩は、記号を黄色、縁及び「緊急」の文字を赤色、「登録（車両）番号」、「有効期限」、「年」、「月」及び「日」の文字を黒色、登録（車両）番号並びに年、月及び日を表示する部分を白色、地を銀色とする。
- 2 記号の部分に、表面の画像が光の反射角度に応じて変化する措置を施すものとする。
- 3 図示の長さの単位は、センチメートルとする。

3-5 緊急通行車両確認証明書

本編関連箇所	P3-115、P4-117、P5-72
参考資料	緊急通行車両等の事前届出・確認手続等要領の制定について（通達）

第 号		年 月 日
緊急通行車両確認証明書		
		知 事 (印)
		公安委員会 (印)
番号標に表示されている番号		
車両の用途 (緊急輸送を行う車両にあっては、輸送人員又は品名)		
使用者	住所	電話 () -
	氏名	
通行日時		
通行経路	出発地	目的地
備考		

備考 用紙は、日本工業規格A5とする。

3-6 災害救助様式

本編関連箇所	P3-95、136、P4-97、141
参 考 資 料	災害救助に関する手続等を定める規則（兵庫県）

第22号 救助の種目別物資受払状況

救 助 の 種 目 別 物 資 受 払 状 況

市(区)町名 赤穂市

救助の種目別	年月日	品 名	単 位 呼 称	摘 要	受	払	残	備 考

- 注1 「摘要」欄に購入又は受入先及び払出し先を記入すること
 2 「備考」欄に購入単価及び購入金額を記入すること
 3 各救助の種目別最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにすること。なお、物資等において、都道府県よりの受入分及び市町調達分がある場合には、それぞれの別に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと
 4 救護班による場合には、救護班ごとに救護業務従事期間中における品目ごとの使用状況を記入すること。なお、「備考」欄に払高数量（使用数量）に対する金額を記入すること

第23号 避難所設置及び収容状況

避 難 所 設 置 及 び 収 容 状 況

市(区)町名 赤穂市

避難所の名称	種別	開設期間	実人員	延人員	物品使用状況		実支出額	備 考
					品 名	数 量		
		月 日 ～ 月 日	人	人			円	
計								

- 注1 「種別」欄は、既存建物、野外施設、天幕の別に記入すること
 2 物品の使用状況は、開設期間中に使用した品目別、使用数量を記入すること
 3 他市町村の住民を収容したときは、その住所、氏名及び収容期間を「備考」欄に記入すること

第24号 応急仮設住宅台帳

応急仮設住宅台帳

市(区)町名 赤穂市

応急仮設住宅番号	世帯主氏名	家族数	所在地	構造区分	面積	敷地区分	着工月日	竣工月日	入居月日	実支出額	備考
		人					月日	月日	月日	円	
計	世帯										

- 注1 「応急仮設住宅番号」欄は、応急仮設住宅に付した番号とし、設置個所を明らかにした簡単な図面を作成し添付すること
- 2 「家族数」欄は、入居時における世帯主を含めての人員数を記入すること
- 3 「所在地」欄は、応急仮設住宅を建設したところの住所を記入すること
- 4 「構造区分」欄は、木造住宅、プレハブ住宅の別を記入する
- 5 「敷地区分」欄は、公私有別とし、有無償の別をも明らかにしておくこと
- 6 「備考」欄には、入居後における経過を明らかにしておくこと

第25号 炊き出し給与状況

炊き出し給与状況

市(区)町名 赤穂市

炊き出し場の名称	月 日			月 日			3日間小計			4日以降小計			合計	実支出額	備考
	朝	昼	夕	朝	昼	夕	朝	昼	夕	朝	昼	夕			
														円	
														円	
計														円	

注 「備考」欄は、給食内容を記入すること

第26号 飲料水の供給簿

飲料水の供給簿

市(区)町名 赤穂市

供給 月日	対 象 人 員	給水用機械器具							実 支 出 額	備 考	
		名 称	借 り 上 げ			修 繕					燃 料 費
			数 量	所 有 者	金 額	修繕 月日	修繕費	故障の 概 要			
	人			円	月 日	円		円	円		
計											

注1 給水用機械器具は借上費の有償、無償の別を問わず作成するものとし、有償による場合にのみ「金額」欄に額を記入すること

2 「故障の概要」欄には、修繕の原因及び主な修繕箇所を記入すること

第27号 物資の給与状況

物資の給与状況

市(区)町名 赤穂市

住家被害 程度区分	世帯主 氏名	基礎とな った世帯 構成人員	給与 月日	物 資 給 与 の 品 名						実 支 出 額	備 考
				ふとん	毛布	作業衣		なべ			
		人	月日							円	
計	全壊	世帯									
	半壊	世帯									

災害救助費として常勤おとおり給与したことに相違ありません。

年 月 日

給与責任者 氏 名

印

注1 住家の被害程度に、全壊（焼）流失又は半壊（焼）床上浸水の別を記入すること

2 受領年月日に、その世帯に対して最後に給与された物資の受領年月日を記入すること

3 「物資給与の品名」欄に、数量を記入すること

第28号 救護班活動状況

救護班活動状況

救護班名

班長 医師 氏名

印

月 日	市(区) 町名	患者数	措置の概要	死 体 検案数	修繕費	備 考
		人		人	円	
計						

注)「備考」欄に班の編成、活動期間を記入すること

第29号 病院診療所医療実施状況

病院診療所医療実施状況

市(区)町名 赤穂市

診療機関名	患者氏名	診療期間 月 日	病名	診療区分		診療報酬 点 数		金額 円	備考
				入院	通院	入院 点	通院 点		
計 機関	人								

注)「診療区分」欄は該当欄に○印を記入すること

第30号 助産台帳

助産台帳

市(区)町名 赤穂市

分べん者氏名	分べん日時	助産機関名	分べん期間 月 日～ 月 日	金額	備考
計					

第31号 被災者救出状況記録簿

被災者救出状況記録簿

市(区)町名 赤穂市

年月日 月 日	救出 人員 人	救出用機械器具								実支 出額 円	備 考
		名 称	借上費			修繕費			燃料費		
			数量	所有者 (管理者) 氏 名	金額 円	修繕月日 月 日	修繕費 円	修繕の 概 要			
計											

注1 他市町に及んだ場合には、備考欄にその市町名を記入すること

2 借上費については有償、無償を問わず記入するものとし、有償による場合にのみ、その借上費を「金額」欄に記入すること

3 「修繕の概要」欄には、修繕の原因及び主な修繕箇所を記入すること

第32号 住宅応急修理記録簿

住宅応急修理記録簿

市(区)町名 赤穂市

世帯主氏名	修理箇所概要	完了月日	実支出額	摘要
		月 日	円	
計 世帯				

第33号 生業資金貸付台帳

生業資金貸付台帳

市(区)町名 赤穂市

貸付を受けた者		保証人			事業計画 概要	貸与 期間	貸与 金額	備考
住所	氏名	住所	氏名	職業				
							円	
	計 世帯							

注1 「貸与期間」欄は「年 月 日まで 年 ヶ月間」を記入すること

2 「備考」欄は、償還状況等のてん末を明らかにしておくこと

第34号 学用品の給与状況

学用品の給与状況

市(区)町名 赤穂市

学校名	学年	児童(生徒)氏名	親権者氏名	給与月日	給与品の内訳						実支出額	備考
					教科書			その他学用品				
					国語	算数		鉛筆	ノート			
				月日							円	
計	小学校		人								円	
	中学校		人								円	

学用品を上記のとおり給与したことに相違ありません。

年 月 日

給与責任者(学校長) 氏 名 印

注1 「給与月日」欄は、その児童(生徒)に対して最後に給与した給与月日を記入すること

2 「給与品の内訳」欄には、数量を記入すること

第35号 埋葬台帳

埋葬台帳

市(区)町名 赤穂市

死亡年月日	埋葬年月日	死亡者		埋葬を行った者		埋葬費				備考
		氏名	年齢	死亡者との関係	氏名	棺(付属品を含む。)	埋葬又は火葬料	骨箱	計	
						円	円	円	円	
計			人							

注1 埋葬を行った人が市長であるときは、遺族の氏名を「備考」欄に記入すること

2 市長が棺、骨箱等を現物で支給したときは、その旨「備考」欄に明らかにすること

3 埋葬を行った人に埋葬費を支給したときは、その旨及び金額を「備考」欄に記入すること

第36号 遺体搜索状況記録簿

遺体搜索状況記録簿

市(区)町名 赤穂市

年月日	搜索地区	搜索遺体	搜索用機械器具			金額	備考
			名称	数量	所有者(管理者) 氏名		
						円	
計							

第37号 遺体処置台帳

遺体処置台帳

市(区)町名 赤穂市

処 理 年月日	遺体発見の日 時及び場所	死亡者 氏 名	遺族		洗浄等の処理			遺体の 一時 保存料	検案料	実支 出額	備考
			氏名	死亡者 との 関係	品名	数 量	金額				
							円	円	円	円	
計		人									

第38号 障害物除去の状況

障害物除去の状況

市(区)町名 赤穂市

住家被害程度 区分	氏名	除去に要した期間 月 日～ 月 日	実支出額 円	除去に要すべき状態の概要	備考
計	半壊(焼)	世帯			
	床上浸水	世帯			

第39号 輸送記録簿

輸送記録簿

市(区)町名 赤穂市

輸送月日	目的	輸送 区間 (距離)	借上等		修繕				燃料費 円	実支出額 円	備考	
			使用車両等		故障車両等		修繕 月日	修繕 費 円				故障の 概要
			種類	台数	金額 円	名称 番号						
計												

- 注1 「目的」欄は主なる目的(又は救助の種類名)を記入すること
 2 市町の車輛等による場合は「備考」欄に車輛番号を記入すること
 3 借上車輛等による場合は有償、無償を問わず記入すること
 4 借上等の「金額」欄には、運送費又は車輛等の借上費を記入すること
 5 「故障の概要」欄には、故障の原因及び故障箇所を記入すること

4-1 被災建築物応急危険度判定ステッカー

本編関連箇所	P3-132、P4-137
参 考 資 料	全国被災建築物応急危険度判定協議会資料

以下に、各ステッカーを示す。

1 危険

応急危険度判定結果

危険

UNSAFE

- ◆この建築物に立ち入ることは危険です
- ◆立ち入る場合は専門家に相談し、応急措置を行った後にしてください

建築物名称

注記：

整理番号

判定日時 月 日 午前・午後 時現在

災害対策本部 電話 ー

応急危険度判定結果

要注意

LIMITED ENTRY

- ◆この建築物に立ち入る場合は十分注意してください
- ◆応急的に補強する場合には専門家にご相談ください

建築物名称

注記：

整理番号

判定日時 月 日 午前・午後 時現在

災害対策本部 電話 ー

応急危険度判定結果

調査済

INSPECTED

- ◆この建築物の被災程度は小さいと考えられます
- ◆建築物は使用可能です

建築物名称

注記：

整理番号

判定日時 月 日 午前・午後 時現在

災害対策本部 電話 ー

6-1 り災証明申請書

本編関連箇所	P6-13
参考資料	健康福祉部資料

証 明 申 請 書

赤穂市長

年 月 日

証明の種類	り 災 証 明 書	
申 請 者	住 所	TEL
	氏 名	⑩
り 災 場 所	赤穂市	
り 災 の 種 類	(1) 住家 (2) 事務所 (3) 事業所 (4) 倉庫 (5) 工場 (6) 車輛 (車輛番号) (7) その他 ()	
り 災 年 月 日	年 月 日	
り 災 の 原 因	1. 震災 2. 火災 3. その他 (台風 号による)	
証明書の提出先		
申 請 通 数	通	

6-2 り災証明書

本編関連箇所	P6-13
参考資料	健康福祉部資料

証 第 _____ 号

り 災 証 明 書

り災場所	赤穂市			
世帯主名	事業主名	所有者名	事業所名又は建物名	
り 災 状 況	り災年月日	年 月 日		
	り災の原因	1. 震災 2. 火災 3. その他（台風 号による）		
	人の災害	(1) 死亡 名 (2) 行方不明 名 (3) 負傷 名		
	建物の種類	(1) 住家 (2) 事務所 (3) 事業所 (4) 倉庫 (5) 工場 (6) 車輛（車輛番号 _____） (7) その他（ _____ ）		
	り災程度	(1) 全壊（全焼） (2) 流失 (3) 大規模半壊 (4) 半壊（半焼） (5) 床上浸水（損害率10%以上20%未満） (6) 床上浸水（損害率10%未満） (7) 一部破損（損害率10%以上20%未満） (8) 一部損壊（損害率10%未満） (9) 床下浸水 (10) 部分焼 (11) 浸水		
世 帯 人 員	氏 名	続 柄	生 年 月 日	備 考

上記のとおり、り災したことを証明する。

年 月 日

赤穂市長

6-3 り災者台帳

本編関連箇所	P6-13
参考資料	健康福祉部資料

様式 号

り災者台帳

世帯	住所 氏名	赤穂市		被災者		被災年月日	被災場所	避難先	備考
		世帯人員	人	職業	勤務先または 学校名(学年)				
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
計									
被災者台帳									
被災者	死亡	人	重傷	人	軽傷	人	行方不明	人	被災の程度
被災財産の種類	1 住家 (自家・借家)	2 非住家 (自家・借家)	3 家財等 ()						全壊・全焼・流失・半壊・半焼 床上浸水・一部損壊・床下浸水・部分焼

